

2022年10月18日（火）

事業所横断サステナビリティアクション推進活動
「“環境問題”をテーマにした啓発活動」報告レポート

■はじめに

株式会社横浜八景島では、西武グループが策定した方針に基づいて、すべての人々、生きものたちが未来にわたって健やかにくらし続けていけるように、サステナビリティアクションを推進しています。国連総会の会期と合わせた毎年9月末の1週間が「SDGs 週間」であることにちなみ、当社でも9～10月にかけて環境啓発活動を目的とした取り組みを行いました。株式会社横浜八景島は、本社および各事業所が一丸となりサステナビリティ活動「ほほえムービング」を推進しています。

未来を動かす。みんなで動かす。

ほほえムービング

■活動報告

【9月4日（日）、18日（日）】

「上越市立水族博物館 うみがたり」では、毎月第一日曜日に地域の皆さまやお客さまとともに持続可能な社会実現を目的としたビーチクリーン活動「エコもっとFree」を行っています。また、9月18日（日）よりスタートした期間限定イベント「貝社員とアッサリ挑戦！海の謎解き大作戦」の謎解き企画に伴い、「エコもっとFree」を追加実施いたしました。謎解きイベントは海洋環境問題に関する内容になっており、最終ミッションには「海の問題を自分ごと化」し、アクションへ移すこととしてビーチクリーン活動が設定されています。館内での謎解きと合わせて設定することで「館内での謎解きで得た知識を実感する場」をお客さまに提供することができたと考えております。

水族館に隣接する海岸は自治体による清掃活動のおかげもあり大きなごみはありませんでしたが、マイクロプラスチックの元にもなるプラスチック片を中心に、2日間で12.1kgのごみを回収しました。



9月16日（金）、30日（金）には地元自治体や企業が毎月合同で実施しているクリーン活動に参画し、海岸清掃と大通り清掃を行いました。

このようなビーチクリーン活動を実施することで、海のごみの軽減に努めるとともに、今後も海洋環境をはじめとした環境保全について考え、啓発してまいります。

【9月11日（日）～16日（金）】

「仙台うみの杜水族館」では、深沼海水浴場のビーチクリーンに参加し、拾った海洋ごみを使用した万華鏡作りやエコバック作りを実施し、約15名のお客さまにご参加いただきました。また、地域クリーン活動として、近隣企業と合同で仙台港エリアのごみ拾いを行い約50名が参加いたしました。

プラスチック削減の啓発を目的に開催したエコバック作り体験プログラムは、14名のお客さまにご参加いただき、楽しく環境問題について学んでいただきました。



【9月17日（土）～25日（日）】

「マクセル アクアパーク品川」では、人気プログラム「ドルフィンパフォーマンス（デイ ver.）」の開始前および「ミニパフォーマンス（コツメカワウソ）」内にて、マイクロプラスチックによる海洋汚染、“ごみを落とす”といった人間の何気ない行動が生きものに与える影響、ごみの分別、リサイクルの大切さなどをお客さまに解説いたしました。

さらに、今年7月に新設された「Coral Lab」にて、「マクセル アクアパーク品川」のサンゴ保全への取り組みをはじめ、サンゴ礁の役割や直面している課題などもレクチャー。同エリアにある「サンゴが産卵する海の環境」と「海中養殖の様子」を表現した2つの水槽と、八重山のサンゴ礁の実態やスタッフの活動を記録した映像をご覧いただき、お客さまに海洋環境について考えていただく機会を提供いたしました。



【9月19日（月）】

台湾桃園市の「Xpark」では、桃園市政府海岸処と協同にて桃園市内の観音新屋（藻礁）で、社内スタッフ向けに生態環境教室とビーチクリーンを実施いたしました。

世界的に希少な環境である藻礁についてレクチャーを受けてから、実際に藻礁やマングローブ林に行きました。同じ桃園市内にある施設として、自然環境を観察しながらレクチャーを受けることで、海の環境について改めて学ぶことができました。スタッフも環境問題についてより深く学び、意識していくことで、お客さまにも発信してまいります。



【9月21日（水）】

株式会社横浜八景島の管理部や営業部などの本社部門において、約 25 名のスタッフが八景島周辺の清掃活動を実施いたしました。今回メインで清掃したのはマリングートから A 駐車場周辺と、八景島駅周辺です。マリングート付近の植え込みでは、缶や瓶、ペットボトル、家庭ごみなどが散見されました。

今後も毎月 1 回、本社部門によるごみ拾いを引き続き行ってまいります。



【9月23日（金・祝）、25日（日）】

「ヒノトントンZOO（羽村市動物公園）」では、園内で作っている堆肥についてのレクチャーをお客さま向けに行いました。23日（金・祝）は天候があまり良くない中約 15 名のお客さまに、25日（日）は天候にも恵まれ約 30 名のお客さまにご参加いただきました。

堆肥は、園内の動物の排泄物や残餌を利用し、かき混ぜ、発酵させて作ります。できあがった堆肥は園内の花や木、動物たちが食べる野菜などの肥料として使っています。

本来捨てるものを再利用している、動物にとっても私たちにとってもエコなこの取り組みを引き続き行ってまいります。



【9月24日（土）、25日（日）】

「仙台うみの杜水族館」では、飼育員による「大人も学べるサステナブル授業」を開催いたしました。“深海生物学から学ぶ、深海の楽しさと有効活用”、“松島湾のアマモ場再生活動”、“外来種アメリカザリガニ”、“スナメリ生態調査”、“絶滅危惧種ゼニタナゴの繁殖”、“ボルダーズビーチから学ぶペンギンとヒトの共存”の6つのテーマで講演を行い、お客さまは興味のある演題について自由に受講いただき、約40名の方が参加されました。



【10月4日（火）】

「横浜・八景島シーパラダイス」のある八景島は東京湾に浮かんでおり、多くのごみが八景島やその周辺の海岸に流れつきます。海に浮かぶごみは、そのままにしておくとは環境汚染を進行させてしまったり、生きものたちが誤飲したりするなど、非常に問題視されています。こうした問題を少しでも緩和するため、「横浜・八景島シーパラダイス」と「マクセル アクアパーク品川」では、二施設協働で八景島内や海の公園の海岸沿いの清掃活動を実施し、計37名のスタッフが参加いたしました。

海沿いには、プリンターのような大型の廃棄物の他、お菓子の袋やペットボトルなどのプラスチック製品のごみが捨てられていました。



■さいごに

これからも私たち株式会社横浜八景島は、サステナビリティアクションを通じ、お客さまに環境保全について考えるきっかけづくりをし、コーポレートスローガン「生きものを通じて世界に笑顔と感動を」を提供してまいります。